

千葉市の事例

1) 「こども・若者の力(ちから)ワークショップ」:

子どもたちが、自分たちを取り巻く身近な課題などについて深く考え、意見交換することで、自分が住む千葉市や社会に対する考えを深めていきます。

ワークショップで出された子どもたちの意見は、市政やまちづくりに可能な範囲で反映させることを目指している。

<https://www.city.chiba.jp/kodomomirai/kodomomirai/kikaku/workshop.html>

2014年度にはこどもたちの声から「自殺予防リーフレット」が作成されています。

https://www.city.chiba.jp/kodomomirai/kodomomirai/kikaku/documents/h23ws04_pamph.pdf

2) 「こども・若者の力フォーラム」:

「こどもの参画」事業の内容や成果を広く知らせる場を設けることで、子どもの視点からの意見を広く社会に発信すること。また、子どもを取り巻く課題について、子どもを含めた様々な立場の人が意見を出し合い、考えを深める機会を作ること。こどもの参画を中心に、子どもを取り巻くさまざまな課題について、子ども、市民、専門家、行政が、ともに考えるプログラムです。「こども・若者の力(ちから)ワークショップ」や「子どもの職場探検&ランチミーティング」などに参加した子どもたちが、それぞれのプログラ

ムでまとめた提言などの成果を一般公開します。また、子どもたちが、市長や専門家、会場にいる参加者などさまざまな立場の方を交え、子どもたちを取り巻く課題についてディスカッションを行います。

(一番最近の第8回では木下副委員長が司会をしていました)

<https://www.city.chiba.jp/kodomomirai/kodomomirai/kikaku/forum.html>

3) 身近な支援者を増やす講座と、活躍してもらうための場作り

- 子どもの SOS 支援員養成講座

<https://www.city.chiba.jp/shimin/shimin/kohokocho/dayori19/documents/0501-10.pdf>

- どこでもこどもカフェ

<https://www.city.chiba.jp/shimin/shimin/jichi/documents/3-7kodomokikaku.pdf>